

(参考)「だいち」データを利用した北方領土の地形図作成

- 国土地理院では、平成21年から「だいち」(ALOS)画像を用いて北方四島の2万5千分1地形図を作成。
- 日本の最北端である北方領土・択捉島のカモイワツカ岬が、従来の地形図の位置より南西方向に100~150メートルにあることを「だいち」の画像解析により明確にし、平成26年7月、92年ぶりに、位置を改めた縮尺2万5千分の1の北方領土の地形図を刊行した。



大正時代につくられた1/50,000の択捉島地形図



新しく作成された1/25,000の択捉島地形図